

碁老連 ニュース

★50号

碁老連の目的

ボケ防止のために、老人同好者の誰モが碁を楽にむくことが出来るよう、機会と場所を確保するために相模カシ、冊巻を通じて親睦を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢献することを念願とする。

発行日 平成6年3月8日
 発行所 八王子の碁を楽にむ老人連合
 〒193 八王子市初沢町1434-46
 TEL (0426) 66-3754
 発行人 篠崎 正一

★50回ボケ防止のための碁老連碁大会

日時 平成6年2月27日午前9時
 会場 総合福祉センター (東浅川町551-1, 電67-1331)
 主催 浅川寿同好会 (会長 保屋野正清, 元王子町3-2581)
 共催 八王子の碁を楽にむ老人連合 (碁老連)
 後援 八王子市, 八王子市教育委員会, 日本棋院
 参加資格 浅川事務所と總事務所管内及び、めじろ台、和巨寺、浅川町、甘里町、元王子町等に在住している60歳以上で10年以上の碁愛好者
 特典 成績により下記大会に推薦される。

- (1). 8月7日開催の八王子大会
- (2). 9月開催の★50回NTT碁老連碁大会

競技成績 次の通り

Aクラス(5段以上)成績表

		予選										順位	戦数				
		1	3	2	2	1	1	2	2	1		計	戦数				
優勝	梅田	X	○	○	X	X	X	○	○	○	○	○	三回戦				
	高橋	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	二回戦				
	市川	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	一回戦				
	高橋	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	一回戦				
	市川	○	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	一回戦				
三位決定戦	高橋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一回戦				
	市川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一回戦				
	高橋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一回戦				
	市川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一回戦				
	高橋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一回戦				
決勝戦		16	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順位
優勝		市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋
三位決定戦		市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋
予選		市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋	市川	高橋
戦数		4	4	7	5	5	7	5	5	4	4	5	5	6	7	6	戦数

(1)

Bクラス(2級・3級)成績表

予選

決勝戦

1	2	2	0			2	0	3	1	2	2	2	1	3	計	勝数		
X	X	0	X			X	X	0	X	0	0	0	0	0	0	0		
金子	平	池田	金子			大野	橋本	江口	中野	奥村	菅野	菅野	菅野	菅野	対高者	三回戦		
X	0	X	X			0	X	0	0	X	0	0	0	0	0	0		
平	金子	金子	金子			金子	金子	金子	金子	金子	金子	金子	金子	金子	対高者	二回戦		
0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
山本	山本	山本	山本			山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	対高者	一回戦		
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	NO.
花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田	花田
2	2	2	2	3	3	2	3	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2

優勝
平

三位決定戦

三位

大野

金子	大野
金子	大野
金子	大野
金子	大野

平

金子	大野
金子	大野
金子	大野
金子	大野

準優勝

江口

Cクラス(初級・準初級)成績表

予選

決勝戦

3	1	2	0	1	1	1			2	2		2	2	2	1	計	勝数	
0	0	0	X	X	X	X			0	X		0	0	0	0	0	0	
丹	練	塚	中河	中河	折井	折井			松	半		萩	福	福	0	0	0	
0	X	X	X	X	0	X			0	0		0	0	0	0	0	0	
松	折井	折井	折井	折井	折井	折井			松	半		萩	福	福	0	0	0	
0	X	0	X	0	X	0			X	0		X	0	0	0	0	0	
相	堂	中河	峰	練	酒	萩	松	松	中	中	中	中	中	中	中	中	中	
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	NO.
相	堂	中河	峰	練	酒	萩	松	松	中	中	中	中	中	中	中	中	中	相
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

優勝
半田

三位決定戦

三位

峰尾

酒見	峰尾
酒見	峰尾
酒見	峰尾
酒見	峰尾

準優勝

酒見	丹
酒見	丹
酒見	丹
酒見	丹

Dクラス(2級~4級)成績表

予選

2	3	1	0	0	2	2	1	2	1	2	1	3	2	計	勝数	
X	0	X	X	X	0	0	0	0	X	0	X	X	0	0	0	0
小池	三々田	尾崎	鈴木	峰尾	水野	川口	神谷	雨宮	石丸	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
0	0	0	X	X	0	X	X	X	0	X	0	0	0	0	0	0
雨宮	川口	水野	峰尾	尾崎	鈴木	川口	神谷	雨宮	石丸	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
0	0	X	X	X	X	0	X	0	X	0	0	0	0	0	0	0
石丸	鈴木	小池	尾崎	鈴木	水野	川口	神谷	雨宮	石丸	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.
三々田	小池	尾崎	鈴木	峰尾	水野	川口	神谷	雨宮	石丸	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
王	英	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄	雄
4	4	3	4	2	3	3	2	4	3	3	2	2	3	4	4	4

優勝

鈴木

三位決定戦

才三位

小池

雨宮

鈴木

小池
英一
光生
三

鈴木
英一
英次
三

Eクラス(5級~10級)成績表

予選

2	1	2	3	0	2	1	2	1	計	勝数
X	0	0	0	X	0	X	0	0	0	0
八木	峰下	村尾	片桐	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井
0	X	0	0	X	X	X	X	X	X	X
村尾	片桐	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井
0	X	X	0	X	0	0	0	0	0	0
片桐	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
片桐	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井	若井
6	7	10	7	5	10	9	5	10	7	5

優勝

網野

三位決定戦

才三位

八木

高瀬

網野

八木
中鉄志

高瀬
八重
中鉄志

囲碁大会の
棄権者について

非会員の方に対しては、往復の切符に招待状を送付しておりますが、参加申込をされた方で、大会当日無断で棄権されることとなり、色々大変な迷惑を及ぼすことになり、誠に申し訳ありません。今後、招待状について検討させていただきます。

日本棋院
理事長 後藤文雄様

平成6年3月4日

八重子の墓を築いた老人連合
会長 熊崎正一

高齢囲碁愛好者に係る社会福祉事業推進に関する提案

拝啓 早速ながら失礼します。

突然、不躰けにもこのような提案を致しました事を御許下さい。

さて、墓築連は予ねより貴院の福永普及部長殿や其の他の方々にも大変分世
話になっており、感謝致しております。

つきましては、昨年12月26日付を以つて大塚事務殿宛で「高齢囲碁愛好者の
不登防止対策及び其の他の件に関する提案」(別紙添付資料を御参照下さい)
を提出しております。

同提案に因つては、出来得れば早い機会に大塚事務殿に直接御面接し、具体的
の所信について御説明申し上げる予定でありましたが、今日現在、案ではその機
会を生えられずあります。

残念ながら、来月6月、終団連の新代会取組に緊急提案を予定しており、その因
連もあり、大塚事務殿の御意向を御伺いする時間的余裕がなくなつてしましまし
たことをご理解下さい。本提案に踏み切りましてはどうかです。

提案の趣旨、其の他に因つては下記の通り御報告申し上げますので、御検討下さいませ
よく御高配を賜りますようお願い申し上げます。

尚、終団連への提案内容については、口答で御報告させて頂きたいと存じておりま
すので御念は下さい。

記

日本棋院社会福祉推進委員会の設立

(1) 構成

- | | |
|------|------------------------------|
| 委員長 | 岩本 兼 先生 |
| 副委員長 | 橋本 孝太郎 先生 |
| 常任委員 | 大塚 事務理事
團四棋院代表
中野棋院代表 |
| 運営委員 | 各都道府県所在地在住
(指導員、其他適任者を活用) |

注：岩本先生を委員長に推薦した理由

先生は、人格、識見共に優れ、徳和な応接など、そのお人柄は万人に
好感を以て迎えられるのは心定であり、誠に貴連の国家的人物として御
敬しております。又、過去において、囲碁界に対する御貢献振興等、囲碁
愛好者間に広く浸透しており、今回の人事は絶賛を博し、その効果は抜群
なものであるものと確信致しております。

(4)

(2) 設立の趣旨

60才以上の囲碁愛好者は、過去において日本棋院の囲碁普及に貢献した功労者とも云うべき方々であり、棋院としては、感謝の気持ちを込めて、これらの方々の余生を囲碁を楽しみながら安定した生涯を営んで頂くために、棋院の奉仕事業として組織作りに協力することを目的と訴えかけであり、更には、囲碁界発展のために相協力しようとする事です。

2. 囲碁界の現状について

(1) 日本棋院関係

イ、権理、名人、本因坊等々の大会を日本棋院を始め新聞社、企業等が主体となって開催されており、更には、世界選手権や団体對抗戦が展開され、正に囲碁の最盛期を迎えている観があります。

然しながらプロ棋士の現状について觀察した場合、将来的には歳に憂うべき危機状態が窺われております。

即ち、全棋士を生年別に分類した場合、下覧の通りとなっております。
(平成5年12月末現在)

級別	70才以上	60才以上	50才以上	40才以上	30才以上	20才以上	20才未満	計
9級	3	9	18	19	8	2		59人
8	2	1	6	6	7	3		25
7	3		11	6	10	12		42
6	2	5	14	9	8	15		53
5	1	1	8	7	9	13		40
4		2	6	1	7	13	3	32
3		1	4	3	2	12	3	25
2			1	3	1	6	4	15
初		3	4	5	3	7	2	24
計	11	22	72	60	55	83	12	315

以上の通り正常な構成とは見受けられません。

尚、詳細については、別途添付資料「日本棋院棋士の生年別明細」を御覧下さい。

ロ、アマチュア関係について

大学、高校、小中学校等の大会と共に社界人関係では、名人、本因坊等の国内大会や世界選手権等各層に亘り盛んに大会が開催されている。

それと共に、昨年より「小中学校の大会」や今年より基金新を主体とした「全国入門、初級教室」の開講等、囲碁人口の底辺拡張と思われる新規発掘も開始されているが、いさゝか流弊的傾向のようで、囲碁離れの大会を模倣する根本的な解決策には程遠いように感じられます。

即ち、小中学生大会に関しては、特殊家庭(プロ棋士やアマの囲碁家庭)により養成された選抜者が殆んどであり、又、基金新による「入門、初級教室」は、特殊事情もあり、永續性に懸念があるものと想定しているからです。

(5)

3.

ハ、級位認定テストについて

近年、雑誌や新聞等による「級位認定テスト」が大変好評を博しているようですが、大局的立場で考察した場合、正常な運営を逸脱した便宜的年俸と云わざるを得ません。

然しながら、囲碁人口減少による免状申請者の激減が棋院経営を圧迫し、起死回生の年俸として採用したものとすれば、已むを得ないものと理解されるが、将来棋院の運命にも係る重大な禍根を背負つたと云う事では無いでしょうか。

(2)、大学関係について

旧数年前より囲碁愛好者の入学数が激減し、其の上、ゴルフ等に転向する者が多い筈、このような傾向は、其の後益々増大しつゝあるようです。

(3)、小・中学生問題について

戦前の戦国では、小学生の知的遊戯としては、将棋が圧倒的に多く、将棋以外に親中なる遊戯が乏しかった。

然るに、終戦後はラガオ、テレビ等の普及により、野球、サッカー、オリンピック関係の競技と流行歌など、視聴覚による娯楽が益々盛んとなり、最近ではテレビゲームに傾倒している有様で、知的遊戯である圍碁を喜ばないようになっていた。

是の上、特に致命的問題とは、上級学校を向うための学習オシロイの家庭環境に育つていないこととあり、更に、小学校では、囲碁の学習は皆無の状態であり、77才活動(圍碁、将棋、オセロ)を希望者が少なく殆んど行われていない。

其の上、碁が出来ぬ先生の数が少ないので、クラブ活動も学校当局より敬遠されているように見受けられる。

圍碁普及の最大な課題は、小学校のクラブ活動に圍碁を復活させることである。其の成否が碁の運命を左右するものと断言出来るのではないだろうか。

然し、現状においては大変な難問と思われが、此れが出来るとの信念を持って当れば必ず道は開けて来るものである。

本件は、碁だけの問題ではなく、人間育成のための小学生教育に係る重要問題である。最後は、国民運動に押し込む位の気概を示して頂き、日本棋院の存在をアピールして頂きたい。

(4)、経済界関係について

過去において、各企業の経営者や首脳部に圍碁の愛好者が多く、社員は出世コースを夢見て碁も碁もと圍碁の習得に努め、将棋の愛好者までも圍碁に転向する者が非常に多く見受けられたようである。

どの会社にも圍碁部が開設され、大会社では競つてプロ棋士を招聘し、又、アマチュアの有名高段者を招聘し、対外接待に好評を博した会社も見受けられた筈、圍碁は社交上貴重な存在と云われぬように活用されていた。

然るに現在は、ゴルフに取って代われ、圍碁の影は非常に薄くなっている。

この事は、政界も、官界も全く同様な動きを示している。

(5)、新圍碁について

現在、プロ棋士の収入の大半は新圍碁に依存しているようであるが、圍碁人口が20

(16)

年後に半減し、更に、減少傾向を辿るものとするれば、新聞社は価値感^{から}に見て
後退姿勢を強めて来る事は当然の帰結と覚悟を定めておくべきである。
以上申し上げましたよう状況により、30年代以前の囲碁ファンは非常に少なくなっており、60
年代の囲碁ファンの半数以下になつてゐるのではないだろうか。
と云ふ事は、20年後以降の将来については、全くのお先真暗と云わざるを得ません。

3. 日本棋院としての対応策について

(1) 日本棋院の立場

現在、我国において体の関係を除いた趣味団体としては、日本棋院は、単独的及び
日本一の統一組織を持つた団体で、資金も格別である。
皆さんの努力の結晶によるものとの心から敬意を表します。
又、棋院の政策として昨今の隆礼と変化に伴い、最大限の即然体制が採られて
いる事は充分伺ひ知ることが出来ます。

(2) 具体的な対応策について

60才以上の囲碁愛好者に対し、碁を打つ場所の機会を提供するために組織作りを
積極的に推進する。

(a) 標榜方針目的

ボケ防止のために碁を打ちましよう

(b) 特に救済を要する対象者

昨年退職後、低い級位のための碁を打つ機会を恵まれず、碁を止めてしまつた
方々は、現在、全国では百万人位は居るのではないかと想定されまふが、更に、
毎年の如く累増している。

これの方々は、ボケ防止のために碁が最高だと言ふことを御存じないように思
われまふが、ボケ老人の有力候補者と云われておられるので、何れにしても碁を御用
されよう指導は必要ありません。

其の他、御老人でボケ防止のために碁を覚えたいと言ふ希望者（御婦人が多い）
が相当いらっしゃるが、何らかの特別措置が必要に成ると見えます。

(c) 組織作り

棋院は、全国の各都市を目標として、都市別碁友連（仮稱）の設立を図り、設立
希望者を募るために、週刊「碁」により毎週募集広告を目的達成時まで掲載する。
応募者に対し、身上書、具体的な構想及び協力者の概要等の書類提出を求
め、各員会で調査の上、日本棋院が後援する団体（資金は除く）として指名する。
尚、指名団体は、週刊「碁」により毎週公表するものとする。

(d) 指名団体とは、都市別碁友連の組織や事業等の概要（別途如何の本投資事務 殿宛の提案を御参照下さい）を参考として提示する。

尚、本件は、各都市の特別事情も考慮し、独自方針も認めらるゝ。

(e) 指名団体の重要目標として、会員の方々は社界奉仕（人生最後のお務め）の おつもりで、御家族、特にお孫さんに碁の年ほどさとして6年生位いまでの御指導 を御願ひする。

(3) お孫さんに対する碁の年ほどさの初能について

(7)

- 5,
- (10) 小学校教育は、知識一辺倒の詰め込み教育を強制し、其の結果として無気力な右脳人間が数多く出来上っているようだが、それと反し囲碁は、右脳の基本的訓練、即ち、鬼着力、創造力、記憶力、更には、集中力、忍耐力、決断力などを養成し、自然の中に、論理的応用力、全体を見る目を養うなど、柔軟な思考方法を身につける。
 - (11) 囲碁を単なる遊戯と看し、勉強の妨げになると考えている人は、時代遅れも甚だしい。即ち、学習は左脳中心で、囲碁は右脳主体であるために、むしろ学習で疲れた脳を囲碁で活性化させる効果が認められている。
 - (12) 将来、日本を背負って立ち、世界平和に貢献し得る人材を確保するためには、積極的に右脳開発に努力し、知育、体育、徳育が一体となったバランスのこれぞ人格の持ち主を養成せねばならない。

以上により、教育界にも囲碁に対する理解を深め、囲碁ファンになって頂けるものと思います。

(14) 小学生在中心とした棋院の対策について

小中学生に対し、小学校と囲碁クラブを開設するよう申し出て置く。

勿論、母親も老人にも共同戦を張って頂く。

小中学生と老人をベースとした囲碁大会の開催、出来得れば近親を呼びたい。更に、業高、全国の小学校と囲碁クラブを普及させるべく努力は、日本棋院と連携を図る。

4. 囲碁に対する観念について (親身と恒集)

(1) 囲碁の本質について

囲碁は東洋哲学の精華として生じた芸術性豊か且最高の知的競技である。

従って、競技である以上、当然の事ながら勝敗も命題にして、優勝の栄冠に懸る。碁の面白さと、榮して、善治や石生等の練成など、囲碁特有の醍醐味に浸る気分は、又格別なものがあります。

碁は、吾々老人にとりては、碁を如何に楽しむかと言う事であり、勝つことのみではないと遠慮すべきではないでしょう。

(2) 囲碁の社交性について

秋田医療センターの副院長 金吾瑞雄先生は、「碁打ちにゴケはいない」と公言されておられますが、僭越ながら私は予ねてより「碁打ちに鬼人なし」を持論として信奉しております。この際、「囲碁は世界平和の礎になる」は如何でしょうか。

又が近い将来、相撲や柔道と共に囲碁が国技として世界中に普及される時代の到来も夢ではないと期待しております。

以上の通り御報告します。

敬具

追記 別途添付物は下記の通り

- 別途添付資料1号 大坂経済政院提案(平成5年11月26日付)
- 〃 〃2号 日本棋院棋士の生年別明細(平成5年12月末現在)
- 〃 〃3号 日本棋院組織概要(平成4年)
- 〃 〃4号 老人性痴呆の正しい知識(金吾瑞雄先生著)
- 〃 〃5号 囲碁のある豊か人生(天洲義照先生著)

以上

才女回ボケ防止のための啓発用基中野大会の御案内

日 時 平成6年3月27日午前9時
 会場 中野市民センター（中野町2726-7、電27-6221）
 主催 中野寿囲碁同好会（会長 阪本 勝、みづい台2-33-6、電91-4074）
 共催 八王子の碁友兼しむ老人連合（碁老連）
 後援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院
 参加費 600円（印当儀を含む）
 特典 成績により下記大会に推荐する。
 (1)、8月7日開催の碁老連八王子大会
 (2)、9月開催の才女回NTT碁老囲碁大会
 参加締切 開催日の1週間前（必着）とする。

才女回ボケ防止のための啓発用碁大和田大会御案内

日 時 平成6年4月10日午前9時
 会場 大和田市民センター（大和田町5-9-1、電45-7920）
 主催 大和田寿囲碁同好会（会長 八木義光、大和田町5-24-3-301、電42-3093）
 共催 以降は前記中野大会と同じ

団体対抗戦参加者（2回戦3日20日）

地区別	級	氏名	地区別	級	氏名	地区別	級	氏名	地区別	級	氏名
大和田			元八			田木			長房		
6	6	藤井 聡明	6	5	楢橋 羽天	6	6	木田 昭彦	6	6	小西 徹
5	6	高田 隼男	5	4	岡 打 哲人	5	6	吉 成 進	5	5	佐藤 要吉
4	4	佐藤 宗次	4	4	戸 泉 嘉泰	4	3	内山 隆光	4	4	平山 裕文
3	4	戸野 敏光	3	2	長 崎 広	3	2	堀 谷 剛司	3	3	市川 隆一
2	2	根本 光能	2	2	橋 本 一	2	初	田 辺 繁	2	2	山 崎 修
初	初	山崎 晃吾	初	初	西 谷 幸	初	初	安 野 実男	初	初	川 村 英二
浅川			由井			中野			北野		
6	7	菅内 庄也	6	5	銀山 和英	6	5	阪本 勝	6	7	伴 藤 栄二
5	5	梅田 昭三郎	5	3	福 田 喬	5	3	藤 沢 昇	5	5	山 本 徳美
4	4	藤田 宏美	4	3	片岡 健部	4	3	藤 本 幸助	4	4	香 藤 好美
3	3	飯 村 章	3	3	塚 義之	3	2	大 本 木 茂	3	3	山 本 森
2	2	橋 場 政明	2	初	石 川 中	2	2	石 小 徳義	2	2	横 藤 正
初	2	嶋 田 高明	初	初	吉 田 国男	初	初	柳 澤 藩	初	初	高 栗 正敏

注：上下24-6が対戦する。上級が主催4-6

地区別天狗決定（前期）

地区別	級	氏名	地区別	級	氏名
浅川	7	奥田 誠次	由井	3	福 田 喬
元八	初	室 原 正	田木	3	内 山 隆 光
中野	2	加 藤 実 男	北野	3	山 本 森
大和田	4	八 木 義 光	長房	5	佐 藤 要 吉

団体対抗戦成績表(1回戦 2月20日)

		浅川 4-6 (勝数 0)				元八 4-6 (勝数 1)			勝計
名 別	元八	6	5	4	3	2	初		
	浅川	山下 6	在原 5	清水 5	西山 3	清水 2	小田 2		
6	遠田 7	0	0	0				3	
5	長谷川 5	0	X	0				2	
4	小林園 4	0	X	0				2	
3	大所友 3				X	X	0	1	
2	中島初				X	X	X	0	
初	折戸初				X	X	X	0	
勝計		0	2	0	3	3	2	10/8	

		中野 4-6 (勝数 0)				大和田 4-6 (勝数 1)			勝計
名 別	中野	藤井 6	遠藤 4	栗原 4	安藤 3	石黒 2	佐藤初		
6	重成 6	X	0	X				1	
5	中田 5	X	0	0				2	
4	赤 2	X	X	0				1	
3	大木 2				0	0	X	2	
2	石山 2				X	X	0	1	
初	宇佐初				0	X	X	1	
勝計		3	1	1	1	2	2	10/8	

		北野 4-6 (勝数 1)				田木 4-6 (勝数 0)			勝計
名 別	田木	谷成 6	松田 5	磯 4	箱垣 2	大野初	大萱初		
6	伊藤 7	0	0	0				3	
5	山本健 5	0	0	0				3	
4	山本園 4	X	X	0				1	
3	菅田 3				X	0	0	2	
2	水野 2				0	0	0	3	
初	種松初				X	X	0	1	
勝計		1	1	0	2	1	0	5/13	

		田井 4-6 (勝数 1)				長井 4-6 (勝数 0)			勝計
名 別	長井	小川 6	平山 4	石井 3	松井 3	渡谷 2	笹原初		
6	藤井 6	0	0	0				3	
5	花井 5	X	0	X				1	
4	福田 3	0	X	0				2	
3	吉川初				X	0	X	1	
2	倉田初				X	0	0	2	
初	吉田初				0	0	0	3	
勝計		1	1	1	2	0	1	6/12	